

大分県外国人総合相談センター おおいた国際交流プラザ

2026
Spring

No.28

Oita Information & Support Center



令和7年度 「日本語おしゃべり会 兼 第2回日本語教室ネットワーク会議」開催



大分県からの委託を受け、2月8日に「日本語おしゃべり会 兼 第2回日本語教室ネットワーク会議」をアイネス（大分市）で開催しました。8か国11名（大分市8名、中津市1名、佐伯市1名、豊後高田市1名）の外国人学習者が発表し、教室の指導者や関係者を含め54名が参加しました。

冒頭、主催者を代表し大分県国際政策課の松木課長が挨拶を行い、「日本語は世界で難しい言葉の1つとされています。単語を忘れていたり、文法を間違っていたりしてもかまいません。ゆっくりで良いので、日頃の勉強の成果を発表してください。」

と発表者にエールを送りました。

発表では各人3分間で、日本で暮らす中で気づいたことや、普段考えていること、大切にしているものなどを日本語でユーモアを交えてスピーチしました。また各教室の指導者には、日頃の指導で気をつけている点などについて紹介していただきました。

総評では、大分県地域日本語教育コーディネーターを務めている立命館アジア太平洋大学の本田教授から発表者それぞれに激励のコメントがありました。最後に、「日本はこれから、日本語が話せて当たり前の人たちだけが住んでいる国ではなくなる。そうなった時に水道やガス、電気、交通機関を整備するのと同じように、みんながちゃんと使える“インフラ”として日本語を意識的に整備していかないといけない時代になるのではないかと思う。生活するために必要な“インフラ”としての日本語をしっかり教えらるる先生が、これからの社会にはとても必要になってくると思う。」というお話があり、地域日本語教室の重要性を改めて実感する有意義な会となりました。



information

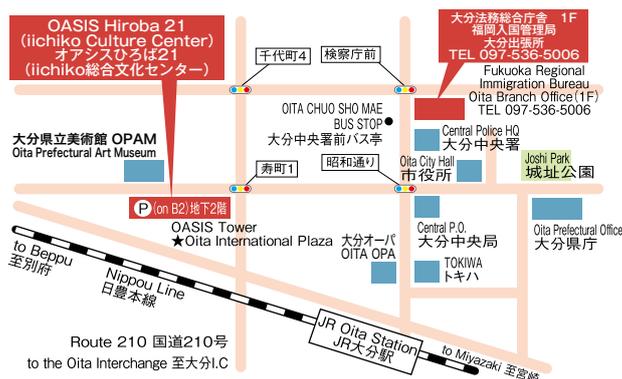
〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター 地下1階
TEL 097-529-7119 (相談センター)
TEL 097-533-4021 (国際交流プラザ)
FAX 097-533-4052 (相談センター・国際交流プラザ)
URL: <https://www.oitaplaza.jp/> (相談センター・国際交流プラザ)
E-mail: oisc@emo.or.jp (相談センター)
E-mail: in@emo.or.jp (国際交流プラザ)

時間 月～土 (相談センター・国際交流プラザ)

10:00～17:00 (相談センター)

9:30～18:00 (国際交流プラザ)

※日曜、祝日、iichiko総合文化センター休館日および年末年始はお休みです





おおいた国際交流団体等ネットワーク会議



大分県からの委託を受け、1月31日に大分県立美術館研修室でおおいた国際交流団体等ネットワーク会議を開催し、県内13の国際交流団体、県内外国人相談センター、日本語教室、留学生支援などの関係者、県・市の担当者など36名が参加しました。

冒頭、大分県国際政策課 松木課長より「県内の外国人居住者は過去最多を更新し、今後も増加が予想されます。

外国の方が大分で安心して暮らし、活躍できる環境を整えることが大切であり、日々様々な面でサポートされている皆様の重要性は増えています。本日は活動状況や成功事例を共有し、支援体制の強化を図ることを目的としています。今後も皆様と連携しながら、多文化共生の社会づくりを進めてまいりますので、引き続きご協力をお願いします。」と挨拶がありました。



続いて、県内で活動している2つの国際交流団体に事例発表を行っていただきました。

まず、グローバルおおの森代表より団体の設立経緯や交流会、啓発活動など活動状況について発表がありました。

次に在大分県ベトナム人協会のファン会長より協会の勉強会や交流会の様子について発表がありました。

また、県内の5つの外国人相談センター(宇佐市外国人総合相談センター、BIC事業協同組合、中津市外国人総合相談センター、竹田市外国人相談窓口サポートセンター、大分県外国人総合相談センター)より、それぞれの活動状況の報告がありました。

最後に参加者から事業説明、活動報告についての感想や各団体のイベント案内など情報交換を行うことができました。



グローバルおおの



在大分県ベトナム人協会



多文化に生きる子ども
ネットワーク大分

相 談 事 例



外国人を雇っている日本人です。外国人従業員に日本で生活する上で必要なルールについて伝えたい。

A

日本での生活を考えている外国人の方や日本に住んでいる外国人の方がより円滑に日本で生活できるよう、出入国在留管理庁が日本の生活ルール等を紹介する生活オリエンテーション動画を作成しています。

動画は日本語を含めて17言語（①日本語、②英語、③中国語（簡体字）④中国語（繁体字）、⑤韓国語、⑥ベトナム語、⑦ネパール語、⑧インドネシア語、⑨フィリピン語、⑩タイ語、⑪ポルトガル語、⑫スペイン語、⑬クメール語（カンボジア語）、⑭ミャンマー語、⑮モンゴル語、⑯ウクライナ語、⑰ロシア語）で対応しています。

動画の詳細については下記の URL から確認できます。

https://www.moj.go.jp/isa/support/coexistence/04_00078.html



大分県外国人総合相談センターでは、生活の困りごとや在留資格など、在留外国人や関係者からの相談に多言語で対応しています。

▶相談センター

日時：月～土 10:00～17:00

※日曜、祝日、iichiko 総合文化センター休館日及び年末年始はお休みです

場所：大分市高砂町 2-33 iichiko 総合文化センター地下1階

連絡先：097-529-7119

費用：無料 申込：不要

▶専門家相談

日時：毎週土曜日 13:00～16:00

場所：大分市高砂町 2-33 iichiko 総合文化センター地下1階

相談員：外国人 Life Support 所属行政書士、弁護士など

費用：無料 申込：不要

※予約は必要ありませんが、専門家により専門分野が異なることや通訳が必要な場合がありますので、相談内容を予めセンターにお知らせください。

▶タガログ語相談

日時：毎月第1土曜日 13:00～16:00

場所：大分市高砂町 2-33 iichiko 総合文化センター地下1階

相談員：大分県フィリピン友好協会相談員

費用：無料 申込：不要

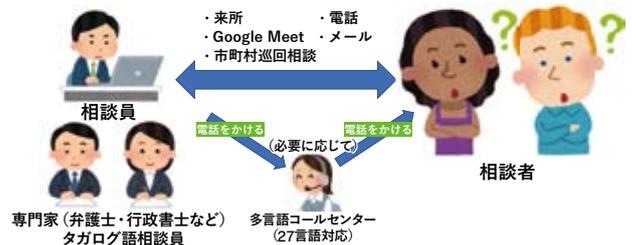
※相談員の都合で中止になることがあります。

※詳細については、HP、SNS

(Facebook、X) 等で確認して下さい。



相談センター利用イメージ



※言語コールセンター対応言語（最大 27 言語）

日本語、英語、韓国語、中国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、タガログ語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ロシア語、ミャンマー語、モンゴル語、シハラ語、ベンガル語、ウルドゥー語、ドイツ語、イタリア語、マレー語、クメール語、ヒンディー語、カンボジア語、アラビア語、ウクライナ語、トルコ語（※ただし、ドイツ語、イタリア語、マレー語、クメール語、ヒンディー語、カンボジア語、アラビア語、ウクライナ語については対応できない場合があります）

※オンライン相談は事前予約が必要です。

※オンライン相談対応言語はやさしい日本語、日本語、韓国語、タガログ語です。

※相談は無料ですが、データ通信費はかかります。

国際理解講座

ポルトガル編



12月20日に大分県立美術館(OPAM)研修室にて、「国際理解講座 ポルトガル編」を開催し、42名の方にご参加いただきました。本講座は、OPAM開館10周年を記念した「きらめく日本美術 1300年の至宝」展において、南蛮美術や大友宗麟にまつわる貴重な資料が展示されていたことから、関連企画として開催したものです。また大分市教育委員会文化財課の協力のもと、南蛮 BVNGO 交流館が当日 OPAM に出張してくださいました。

講師には、近世・近代ポルトガル史を専門とする^{くろたに のりひろ} 疇谷 憲洋教授(大分県立芸術文化短期大学)をお迎えし、「ポルトガルと大分、交流の記憶～宗麟公がポルトガルを旅したら?～」と題してお話しいただきました。

はじめに、ポルトガルの地理的特徴や食の基本情報、多様な民族・文化の影響を受けた歴史などを説明しました。ポルトガルの伝統工芸として知られる「Azulejo(装飾タイル)」は、イスラム文化の影響を受けたもので、ホルトホール大分(大分市)には、ポルトガル・アベイロ市から姉妹都市提携30周年を記念して寄贈されたアズレージョのタイル画「CANAL CENTRAL(中央運河)」が設置されていることを紹介しました。

続いて、ポルトガルと縁の深い大友宗麟の話に移ります。宗麟は、ポルトガル人やイエズス会士を保護し布教を許可したことから、「豊後王」として世界に名を馳せました。宗麟の名代として伊東マンショをはじめとする使節がヨーロッパ各地を訪れ、その道中の様子が『天正遣欧使節記』に残されています。講師はこの『天正遣欧使節記』の記述に基づき、「もし宗麟が天正遣欧使節の案内のもとポルトガルを旅したら」として、当時のリスボンのベレン地区、南部の都エヴォラ、大学都市コインブラなどについて、資料や写真を交えて楽しく話してくださいました。

講座では、簡単なポルトガル語の挨拶や講師が撮影した街角の写真などの紹介もあり、言語、文化、歴史とポルトガルを余さず感じられる内容となりました。参加者からは「幅広く、体験にも基づいた楽しい講座だった」「大友宗麟とポルトガルのつながりを勉強でき、当時の使節団の様子がわかった」「ポルトガルの全体像が掴めて、更に興味が湧いてきた」などの感想が聞かれ、参加者の知的好奇心を満たす充実した講座になりました。



国際理解講座

アメリカ編(予告)



おおいた国際交流プラザでは、大分県国際交流員(CIR)のAliceana Lin (リン アリシアナ)さんを講師にお招きし、「国際理解講座 アメリカ編」を開催します!

日時: 6月27日(土)14:00 ~

場所: iichiko総合文化センター 地下1階 映像小ホール

詳細は決まり次第、プラザHP等でお知らせします。

令和7年度

国際交流団体等活動活性化事業補助金の活用事例

おおいた国際交流プラザでは、県内の国際交流団体等が行う多様な文化・スポーツ交流事業や県民と在住外国人との交流事業などの取組に助成（補助金交付）しています。令和7年度の補助金活用事例として、NPO 法人遊鳳国際文化交流協会（矢野麻里理事長）の取組を紹介します。

遊鳳国際文化交流協会は、令和7年12月9日から12月14日まで大分県立美術館、12月21日から12月28日まで中九州アートミュージアム（豊後大野市）において、日本と中国の書や絵画、仏画、工芸などの作品を展示する「日中文化交流展～現代に生きる南画～」を開催し、日中の相互理解と友好交流の機会を提供しました。

また、12月21日に豊後大野市、令和8年1月25日には竹田市において、「日中南画研究交流会」を開催し、中国文化の影響を受ける豊後南画の歴史的背景や美意識、現在における意義などについて意見交換を行いました。研究交流会では、日本人や中国人だけでなく、スイス国籍やスリランカ国籍の外国人も参加して多文化交流が行われ、「西洋絵画とは全く異なる表現である」、「余白を美とする思想に驚いた」、「掛け軸に限定せず襖絵や壁画へ展開できないか」などの感想や意見が聞かれました。期間中は県内各地から1,000人を超える多くの参加者があり、文化を通じて国際交流の促進が図られました。



令和7年度「外国語図書無料配布」



外国語図書の無料配布を、2月20日・21日の2日間、「おおいた国際交流プラザ研修室」で実施しました。10名を超える外国籍の方を含め、県内各地から53名の方に足を運んでいただき、用意した337冊のうち170冊が来場者の手に渡りました。

会場では、ジャンルごとに並べられた本を来場者が興味深そうに手に取り、じっくり選ぶ姿が多く見られました。お帰りの際にはアンケートにもご協力いただき、貴重なご意見をお寄せいただきました。いただいた声は、今後の運営に活かしていきます。

おおいた国際交流プラザでは、外国語図書の貸出しを行っています。お一人10冊まで2週間借りることができます。ぜひご利用ください。

配架を終えた外国語図書は無料配布を通して皆さんへ還元しています。ご自宅に眠っている外国語図書がありましたら、ぜひ当プラザまでご連絡ください。



国際交流員 退任あいさつ

春めいた風が頬をかすめ、「また一年が巡ってきたな」としみじみ感じます。

国際交流に飛び込む一年

学校交流の場で「通訳の金さん」として海外と日本の子供たちをつないでいました。透明人間であることに悔しく思ったこともありましたが、サポートをする中で通訳者としての誇りとやりがいを満喫していました。月に一回のフリートークは、私にとってオアシスでした。「先生」と呼んでいただいています。実は皆さんこそが、私を豊かにしてくれる先生です。

異文化と向き合う一年

ある朝、日本人の同僚から「マグカップに水が残っていたので、地震が来たら危ないと思い、捨ててしまったのですが、大丈夫でしたか」と声をかけられました。中国では気にも留めないことが、日本では自然災害に備えるための常識。恥ずかしく思いながら、異文化理解は、こうした日常に息づいているのかもしれないと気付かされました。それ以来、席を離れるときには必ずマグカップを空にしています。

この一年は、母国に近づく一年でした。

異なる文化を知れば知るほど理解が深まり、同時に自分が育ってきた文化の重みをよりはっきり感じます。春節や漢字について中国を紹介するたびに、記憶の奥にある匂いに癒やされます。一方で、知識の足りなさも痛感し、周りに話を聞き資料を調べ、今まで以上に自国のことを知るようになりました。遠く離れていますが、この一年ほど祖国を近くに感じたことはなかったと思います。

会うは別れの始め

この一年は、純度の高い日本酒のように、少量ながらも濃厚に醸されていたと思います。着任挨拶を綴る時のウキウキがまだ鮮明ですが、また春になると終わりが訪れます。これからも、謙虚と尊敬の心を持って、多様な文化に触れ合い前を向いていきたいと思いますので、笑顔でお別れをさせていただきます。

最後に、お世話になったこの豊後の地、職場と県民の皆様にご感謝申し上げますとともに、謹んで大分のさらなる発展、皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



フリートーク教室



大分の春

金 函宇

国際交流員コラム



温泉との出会い

リン アリシアナ

「おんせん県おおいた」温泉の源泉数と湧出量が日本一を誇る大分県。

このキャッチフレーズは、大分に住んでいる人なら必ず一度は聞いたことがあると思います。私も来る前から温泉がとても有名だと知っていました。別府市には温泉を目的に全国や海外から多くの人々が訪れます。でも、正直に言うとうと、最初は「温泉って、ただのお風呂ではないか？」と思っていました。ニューヨークの実家には浴槽がなく、湯船に浸かる習慣もなかったからです。大分に来てからも、初めて温泉に行ったのは5ヶ月後でした。

きっかけは、温泉に詳しい友達が4日間遊びに来てくれたことです。その間、ほぼ毎日違う温泉に連れて行ってくれました。私はそれまで温泉に行ったことがなく、何を携って行けばいいのかわかりませんでした。温泉に行く前に、友達が持ち物や温泉でのマナーなど、いろいろなことを教えてくれました。

初めは裸になることに抵抗があり、不安でした。でも実際に入ってみると、思っていたほど大したことではないと気づきました。みんなはただリラックスしに来ているだけで、周りの人のことをあまり気にしていません。一度経験すると、次からは気持ちが楽になりました。砂風呂にも挑戦し、温泉には本当にさまざまな種類があると実感しました。シャンプーやボディソープが備え付けてある所もあれば、お湯しかないシンプルな温泉もあり、地元の人々は自分のシャンプーや洗面用具を持参していることもわかりました。その上、ぬるいお湯や熱いお湯、水風呂などがあり、施設ごとに雰囲気や特徴も異なります。

今ではすっかり温泉が大好きです。特に冬の寒い日には、仕事終わりに温泉へ行くのを楽しみにしています。体の芯から温まり、疲れも取れる感じがします。もう温泉のない生活は考えられません。



別府の景色

県内イベント案内

※掲載のイベントは、予告なく中止・変更になる場合があります。

Festivals and Events



iichiko presents 声優朗読劇フォアレーゼン ～面会～

日 時 / 2026年4月19日(日) 14:45開演
会 場 / iichikoグランシアタ
料 金 / S席(1階席)6,000円、A席(2-3階席)5,000円、
B席(2-3階席)4,000円
U25割 A席(2-3階席)2,500円、
B席(2-3階席)2,000円(全席指定)
出 演 / 立木文彦、小林親弘、日笠陽子、野上翔、増田俊樹、
戸谷菊之介、望月晶(ピアノ)

ホールにおでかけ！ おこさんと気軽にクラシックコンサート

日 時 / 2026年5月4日(月・祝)
【午前】11:00～11:40 【午後】13:00～13:40
会 場 / iichiko音の泉ホール
料 金 / 一般 1,000円、25歳以下 500円、
小学生以下 無料(指定席・自由席共通) ※0歳から入場できます
出 演 / 乗松恵美(ソプラノ)、新崎誠実(ピアノ)、
野尻小矢佳(パーカッション)
曲 目 / しあわせになあれ
月の光 with オーシャンドラム
オペラ『椿姫』より 乾杯の歌 ほか ※午前・午後で曲目が異なります

カイ・フランク展 時代を超えるフィンランド・デザイン

開催期間 / 4月25日(土)～6月14日(日)
会 場 / 大分県立美術館 1階 展示室A
観覧料 / 一般 1,500円、高校生 1,200円
※中学生以下は無料
※障がい者手帳提示者本人1名入場無料
(付き添いの方1名まで無料)

ラブ! ヴァンガード!! 前衛を愛した、あるコレクターの眼 —草間彌生、ハイター and more

開催期間 / 6月13日(土)～8月16日(日)
会 場 / 大分県立美術館 3階 展示室B
観覧料 / 一般 1,500円、高校生 1,200円
※中学生以下は無料
※障がい者手帳提示者本人1名入場無料
(付き添いの方1名まで無料)

コレクション展 I 【特集展示】時松辰夫 / 暮らし・自然へのまなざし

開催期間 / 4月4日(土)～5月31日(日)
※5月7日(木)は休展日
会 場 / 大分県立美術館 3階 コレクション展示室
観覧料 / 一般 300(250)円、
大学・高校生 200(150)円
※中学生以下は無料
※()内は有料入場20名以上の団体料金
※障がい者手帳提示者本人1名入場無料
(付き添いの方1名まで無料)
※開催中の企画展の半券提示で1枚につき1回無料



JICAデスク 大分からこんにちは! //

「Play Smile ～野球で未来に笑顔～」をスローガンに掲げ、サンリオベースボールアカデミー in大分が、2025年11月24日(月・祝日)に、別大興産スタジアムで開催されました。これは、報知新聞社が主催の野球を通して世界の子供達を笑顔にするという社会貢献活動「キッズベースボール」の一つ。また、特別協賛のサンリオの企業理念「みんななかよく」のもと、野球を通じて子供たちの笑顔がもっと溢れてほしいという想いから、プロの野球選手たちを交えた野球教室が開かれました。当日は、330人の小学生が参加しました。

会場では、用具不足に悩む国や地域の子供たちへ寄贈することを目的に、参加者からの寄付を中心に、不使用となった野球用具の回収が行われました。回収された用具は、JICA海外協力隊の大学連携で派遣される野球隊員によるハンドキャリーや、現在活動中のJICA海外協力隊員が活動で不足



プロの野球選手による野球教室

している物品を要請する「世界の笑顔のために」プログラムを活用し、途上国へ運ばれます。

場所を同じくして、JICA海外協力隊紹介ブースを出展しました。

スポーツの支援で派遣された大分県出身の海外協力隊員(合気道、体育、水泳の職種)の活動パネルを展示しました。また、これに関するクイズを出題し、正解したら、世界の国旗の缶



世界の国旗缶バッジ作りの様子

バッジを作ることが出来る体験活動も実施しました。海外へのボランティアの仕事にスポーツの分野があることを知った参加者のみなさんは驚いていました。105名の方にご参加いただきました。ありがとうございました。

国際協力について知っていただくために、JICAデスク大分では、様々なイベントに体験活動を取り入れたブース出展をしています。国際理解や国際交流活動などでぜひご活用ください。



JICAデスク 大分

iichiko総合文化センター (B1F) おおいた国際交流プラザ内
担当: JICA九州・大分県国際協力推進員 渡邊
TEL: 097-533-4021 (おおいた国際交流プラザ直通)
E-Mail: jicadpd-desk-oitaken@jica.go.jp

おおいた国際交流プラザからのお知らせ

●Free Talk Class

県国際交流員（CIR）が出身国の文化や日常生活などについて母国語で紹介し、参加者が楽しみながら言語に触れることを目的としています。

イギリス、アメリカ、韓国出身のネイティブと交流してみませんか。（各週で1言語）

日時 金曜日 13:30～15:00

※詳しくはHPを

定員 各10名

ご確認ください



●語学講座

言語を学びながらその国の魅力に触れてみませんか。興味のある方はぜひご参加ください。

対象言語：インドネシア語、ベトナム語、イタリア語

定員 各10名



●通訳・翻訳ボランティア

おおいた国際交流プラザには、英語・中国語・韓国語・ドイツ語・イタリア語・フランス語・ロシア語・タガログ語・スペイン語・ベトナム語・インドネシア語・ヒンディー語・ウルドゥー語・マレー語・アラビア語・モンゴル語・ベンガル語の通訳・翻訳ボランティアが登録しています。

●日本語ボランティア

日本語ボランティアは、日本語を母語としない方に日本語を教えるボランティアです。

語学力を活かして、在留外国人等のサポートをしたいという方のご登録を随時募集しています！

登録希望者は、おおいた国際交流プラザのHPから登録用紙をダウンロードしてご記入のうえ、FAX、E-mail、または直接提出してください。

●医療ハンドブック

大分県内に在住する外国人のための医療ハンドブックをおおいた国際交流プラザのホームページでご覧いただけます(5か国語)ハンドブックでは、日本の医療制度、病院のかかり方、妊娠・出産の時の対応、事故や感染症など、日本で生活で知っておきたい情報を紹介しています。

日本語教室情報

▶あいうえおCLUB

①場 所 アイネス（大分市）

日 時 毎週火・金 10:20～11:50

連絡先 090-8353-2485 宮瀬

②場 所 コンパルホール（大分市）

日 時 毎週木 18:30～20:30

連絡先 090-7169-4466 加藤

▶さくら日本語教室

場 所 大分大学国際交流会館（大分市）

日 時 毎週月 10:15～12:00

連絡先 097-528-1865 川野

▶日本語ボランティアひまわり

①場 所 明治明野公民館（大分市）

日 時 月3回水 14:00～15:30

※詳細はお問い合わせください

②場 所 鶴崎公民館（大分市）

日 時 毎週土 10:00～11:30

③場 所 大分中央公民館（大分市）

※こども日本語教室

日 時 毎週土 14:00～15:30

連絡先 097-527-2614 深田

▶日本語らくらくトーク

①場 所 別府市役所

日 時 毎週月 14:00～15:30

②場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週水 13:00～15:00（初級）

毎週水 15:00～17:00（中級）

連絡先 0977-21-1131 別府市文化国際課

▶Beppu Japanese Conversation Class

場 所 APU PLAZA OITA (AP House 4) 1階

日 時 毎週日 10:00～12:00

初級から中級まで

連絡先 070-6595-4466 神（こう）

県内には、このほかにも日本語教室が開設されています。

詳しくはQRコードからご確認ください。

